



広
報

びらとり

2

2018

みんなでつくる、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。



(1/9 わくわくドキドキ！冬休み理科教室)

平成 30 年 平取町成人式 … 2

特集 先住民族国際交流事業～in 台湾 … 4

広域観光圏の具体化をめざして … 5

まちのひろば … 6 教育委員会からのお知らせ … 8

すこやかだより …12 図書館へいこう …13

まちの人口と世帯数

人口	5,174人	(15)
男	2,515人	(4)
女	2,659人	(11)
世帯数	2,581世帯	(18)

()内は前月比 1月末現在

平成30年 平取町成人式



平成30年平取町成人式が1月7日、中央公民館で開催されました。今年の新成人は49人（男性26人、女性23人）で、出席者はスーツや振り袖に身を包み、祝福を受けながら人生の新たな一歩を踏み出しました。みなさんの一層のご活躍を期待いたします。



お礼のことば
堀内 勇理さん



記念品贈呈
工藤 五月さん



成人宣言
平村 諒介さん 宮本亜津沙さん



成人者を代表して
今年の抱負



先住民族国際交流事業 ～ in 台湾

台湾原住民族と アイヌ関係団体代表交流

昨年、11月6日から10日の5日間、先住民族国際交流事業が実施され、町長を団長に平取アイヌ協会や平取アイヌ文化保存会、二風谷アイヌ語教室、二風谷民芸組合、町の担当者、通訳を含め8人が台湾を訪問しました。

この研修は、(財)自治体国際化協会の助成を受け実施されたものですが、平取町のメンバーの他に北海道大

学アイヌ先住民研究センターの協力も得ています。

◆台湾の原住民族の歴史

台湾島とその周辺に古くから住んでいた台湾の原住民族は、17世紀ごろからスペイン、オランダ、清朝と外来勢力にほんろうされる歴史を歩み、19世紀末からは日本20世紀半ばから中華民国の統治を受けてきました。

当時日本人は原住民族を「高砂族」と呼び、日本語教育や日本名を名乗らせるなどの同化政策を採りました。中華民国(国民党)政府も原住民族の漢民族への同化政策を採りました。

しかし、1980年代から台湾の民主化と呼応して民族としての権利獲得運動が

徐々に成果を収めるようになってい

各民族の総称も法律上、1994年

には「原住民」、1997年には



烏来区公所

「原住民族」と改められました。台湾の原住民族は総人口の2%を占めており、政府から公式に認定された16の原住民族となっており、この他平埔族と称される原住民族の認定の動きもあります。

◆訪問地

主な訪問先については、中央政

府機関となつている原住民族委員会、面積82haで野外



原住民族委員会

博物館や各部落の舞踊を再現する専門のホールなどがある原住民族文化園区、地下1階から3階まで各展示が充実している私立の順益台湾原住民族博物館、一昨年に平取に来られ交流の展示などを行った烏来区の烏来区公所、烏来織物協会となつてい

ます。この中で、日本で言えば一つの「省」と同等である、原住民族委員会について簡単

に紹介します。

現在の主任委員(日本で言えば大臣)は昨年平取町に来町されて、町やアイヌ協会の関係者と交流を行った方です。この原住民族委員会では、原住民族の教育文化、社会福祉、経済発展、公共建設、土地管理などの施策を行っており、これを進める予算についても、原住民族枠が確保されています。

◆参加者の感想

参加された皆さんからいただいた感想では、「国として先住民政策を押し進める、予算を割くという方針が進めば台湾のようになっていく」「それぞれの事情はあるものの随分日本は先住民族、アイヌに対する政策が遅れている」「国の中で原住民族の存在が、多くの人に認められていることは、これほどまでに力になることを身をもって感じた」「行き先それぞれの場合で、とても温かく受け入れられ感動しっぱなしでした」などが寄せられました。

◆最後に

訪問した11月の台湾の気温は29度。気温だけではなく、この施設に訪問しても温かく歓迎していただき、お客様(ゲスト)の迎え方については、今後に活かさねば、と感じています。なお、今回の国際交流事業については、2月18日(日)に開催される第29回シリムカアイヌ文化祭で報告しますので、ぜひ参加をお願いします。



原住民族文化園区

「広域観光圏の具体化をめざして」

「鶴川・沙流川WAKUWAKU協議会」

むかわ町、日高町、平取町の3町で構成する鶴川・沙流川WAKUWAKU協議会では、昨年度に続き、広域観光圏の具体化に向けた事業に取り組んでいます。今年度の実施事業についてお知らせします。

◆回遊ルート型など

ツアアの実施

札幌都市圏のお客様を対象とし、3町の地域資源をもとに魅力をアピールした全6回のツアアを実施しました。イザベラ・バードの歴史を巡るルートや収穫体験などプログラムは参加者に興味をもってもらい、特にアイヌ文化は参加した留学生から高い評価を受けました。多くの方々に地域を訪れていただけるようにしていきたいと思えます。



イザベラ・バード解説板(富川)前でのツアアガイド

◆流域特産品の開発

昨年度の事業で平取町に導入したレーザー加工機を用いたクラフトや日高町に導入した乾燥機を用いた乾燥野菜など、3町ならではの特産品開発を進めています。3町の町民によるワーキングチームの意見を反映した試作品を3町のイベントなどをを使って試験販売を行い、アンケートを実施してお客さまの評価を試作品に生かしています。



特産品開発商品の試験販売(沙流川まつり)

また、3町をアピールするロゴマークのデザイン化も行い、パッケージなどに使用したいと考えています。

◆DMO等設立支援

広域観光圏の形成を具体的に進めていくために、例えば、どのようなお客さまが何人くらい、いつ、どこから、どんな方法で3町を訪れていて、どんなことに興味を持っているのかというような調査を統一した方法で継

続的に行い、来訪者を増やす方策の検討や、地域に経済的な波及効果が生まれるような特産品やプログラム開発の企画、地域情報の収集や発信などを行う実施体制のことをDMOと呼んでいます。これまでに先進地調査やDMOに関する情報収集をふまえて、今後の広域的な観光地域づくりの方向性を示す鶴川・沙流川WAKUWAKUビジョンを作成し、現在、DMOの具体的な組織化に向けた検討を行っています。

◆鶴川・沙流川

WAKUWAKU

協議会の体制

構成団体の代表者による協議会、実務担当者による運営委員会、町民参加による流域活性化地域検討会、役員担当者による計画策定部会およびDMO担当者で協議し



富良野・美瑛広域観光センターの視察

ながら、事業を進めています。3月にはシンポジウムを予定しており、協議会ホームページ
(<http://mukawa-sarugawa-wakuwaku.jp/>)に事業の実施経過を掲載していく予定です。

〈連絡先〉
鶴川・沙流川
WAKUWAKU協議会
事務局 観光商工課
〒055-0192 平取町本町28
☎ 3-7703



公設民営塾「びらとり義経塾」 冬期講習会 開催

町内中学生および平取高校生を対象にした公設塾「びらとり義経塾」冬期講習会を開催しました。冬期休業中の12月23日から約1ヶ月間、1コマ120分の講習を最大8回、無料で受講でき、想定を上回る93名が受講しました。受講した生徒、保護者から大変好評を得ています。

オジュウチョウサン号がGIを4連覇

12月23日、中山競馬場（千葉県船橋市）で行われた「第140回中山大障害」（J・GI）で、坂東牧場生産のオジュウチョウサン号（牡6歳）がゴール前でトップになり優勝しました。

史上初の障害G1・4勝目。障害重賞8連勝の快挙達成となっています。



ご寄付ありがとうございます（12/29）

日高地方共同募金委員会（小西正男会長）より社会福祉法人平取福祉会 経費老人ホームケアハウスしずか（前川義幸施設長）へ寄付がありました。一般社団法人 室蘭建設業協会・日高建設協会より、歳末たすけあい義援金として北海道共同募金会日高地方共同募金委員会に寄せられたもので、管内7町に配分されました。あたたかいご厚意に感謝します。

平取消消防出初式（1/4）

平取消消防出初式が、本町で行われました。

出初式は、消防職団員の団結の強化と士気の高揚を図ることなどを目的に行われ、年度ごとに開催場所を変えています。晴れやかな日に、消防団員の皆さんは平取消消防署から中央公民館まで、分列行進を行いました。その後の式典では、消防長、消防団長の訓示などでさらに気が引き締められました。



カーリング実技講習会 (1/18)

平取カーリング協会では、オリンピックカーリング競技女子日本代表として出場した、金村萌絵氏を講師に実技講習会を実施しました。初心者から経験者まで投げ方、足の向きなど基本を話してから指導。

会場では狙いに向かい滑らせ、思う方向にいくと盛りあがりを見せました。その後、町民センターで講演会も開催しました。(町民税1%まちづくり事業)



西松・岩田地崎・岩倉特定建設工事共同企業体 地域貢献活動に感謝状 (1/23)

芽生地区でダム建設を施工している3共同企業体は、毎年、春と秋には道路清掃活動を荷負から豊糠までの道道で、社員20人以上で道路沿いに落ちている空き缶やペットボトルなどのゴミを拾い集めています。また、芽生自治会が芽生生活改善センター周辺に駐車場の増設を希望のため、旧ゲートボール場に砂利を入れ駐車場として整備をしました。

豊糠出身 作詩家 高橋直人氏 最優秀作詩賞受賞

昨年6月に北海道びらとり会会員となった、東京在住、作詩家・高橋直人氏(豊糠出身)が作詩した、「千島桜」鳥羽一郎(歌唱)が12月6日に販売されました。

「千島桜」は日本作曲家協会・日本作詞家協会による「ソングコンテストグランプリ・2017」の最優秀作詩賞受賞となりました。

北海道びらとり会の会員となった同じ年に最優秀作詩賞受賞で、「平取で鍛えた根性の賜物」と高橋氏からの喜びの声が届きました。準備期間から、北海道びらとり会の発起人としてご協力いただいた高橋さんに最優秀作詩賞受賞のお祝いを申し上げます。



高橋 直人 氏



◆今後、町内で「千島桜」CD販売の予定があります。

高橋直人氏プロフィール

昭和23年8月生。平取町で34年間生活。高校卒業後、浦河職業訓練校建築家終了。農業・造林・造材・土木建設など平取町で働きながら、作詩活動をし昭和57年頃に上京し作詩を専門として現在に至る。

【主な作品一わかれ雪(山川豊) 双葉山(細川たかし)など】

教育委員会からのお知らせ

平取高校生や北大生との交流！学習サポート事業実施！ 2～3日間 町内の小中学校で開催 ～基礎学力の定着をめざして～



<平取小学校チャレンジタイム>

町内の小中学校では、冬季休業中において2～3日間にかけて学習サポート事業が実施されました。それぞれの学校が児童生徒の実態に合わせて、基礎基本の定着に向けた補充的な学習活動や応用力向上をめざした発展的な学習活動に意欲的に取り組んでいました。

学年指定や教科指定などの規制はせずに、児童生徒の自主的な希望参加により実施しています。小学校では国語や算数を中心に行い、例年よりも多い児童が参加していました。



12月26日には、平取小学校において「冬休みチャレンジタイム」が行われ、平取高校の5人の生徒が児童の学習活動を支援していました。次の日の12月27日には北大生の5人も加わり学習支援を受けながら、少ない人数での指導を受け、学習に真剣に取り組む児童の姿をたくさん見ることができました。

予定にはなかった教育委員会主催の「冬休み学習教室」においても平取小学校より13人の参加があり、支援にあたっていただいた北大生1人と平取中学校教諭2人が学習活動をサポートしました。その他にも交流があり、児童にとって有意義な時間を過ごしていました。



<貫気別小学校学習サポート>

また、年が明け1月12日には貫気別小学校においても北大生の支援を受けながら様々な学習活動に取り組み、喜びの笑顔がたくさん見られました。

この冬休みからスタートした公設塾「びらとり義経塾」にも中学生・高校生のあわせて93人が参加しています。今やるべきことをしっかりとやるのがこれからの生活に生きてきます。確かな学力も



<冬休み学習教室>

自分磨きの大きな要素です。小さなことの積み重ねが今後の生活の中で実を結んでいきます。「継続は力なり」です。冬休みの生活はどうしても生活リズムが狂うことがあります。そうした生活の中で一番先に後回しにされていくのが学習活動です。規則正しい生活リズムを構築していくことは、これから生きていく上で非常に大切なことです。ゲームなどの誘惑に負けずにしっかりと自己管理を心がけていく必要があります。

■ 3学期も残りあとわずか！最後のまとめを！

町内の各学校においては3学期も始まり、今年度のまとめの時期を迎えています。残り短い中で悔いの残らぬように、学年のまとめや小学校・中学校・高等学校のまとめをし、落ち着いた学校生活で締めくくってほしいものです。

<卒業式の日程>

平取高等学校	3月1日(木)
平取中学校・振内中学校	3月15日(木)
平取養護学校	3月16日(金)
平取小学校・二風谷小学校	3月20日(火)
振内小学校	3月22日(木)
紫雲古津小学校・貫気別小学校	3月23日(金)

*修了式はすべての学校で3月23日(金)に行われます。

■ 中学3年生においては人生初の進路選択、高校入学試験を迎えます。

健康に留意し全力投球を！ がんばれ受験生！ 3月6日(火) 学力検査日

みんなで楽しくそば作りにチャレンジ！～子ども公民館講座～

12月16日、中央公民館で子ども公民館講座「そば作り体験」を開催しました。

中央公民館と児童館共催のこの事業は、今年もびらとり蕎麦同好会の方々を講師に、親切で分かりやすい指導の下、参加者19人で楽しくそばを作りました。

作業は、そば鉢の中にそば粉、つなぎ、水を入れてこねるところから、包丁を使って切るところまで一通り行い、約1時間半で全て終わることができました。

最後に、できあがったそばに秘伝のタレ、鶏肉、ナルト、ネギを加えた「かしわそば」を全員で美味しくいただきました。



楽しかったね理科実験！～わくわくドキドキ！冬休み理科教室～

町内の小学3～6年生を対象に、少しでも理科に興味を持ってもらう事を目的に、子ども公民館講座「わくわくドキドキ！冬休み理科教室」を1月9日、中央公民館で開催しました。

この理科教室は、例年大好評で、今年度も受付初日で定員を超える申し込みがありました。当日は残念ながら数人が欠席しましたが、それでも43人が笑顔で参加しました。



内容としては、選択する2つの実験と、中学年と高学年に分かれての特別講義です。選択する実験では、新しい2つの実験も含め4つの実験を行いました。

今年度初めて行った水中シャボン玉の実験は、シャボン玉を水中に作るというもので、初めは思うようにシャボン玉を作れなかった子も、先生や友達に教えてもらいコツをつかむとできるようになり、「できたあ～！」ととても嬉しそうな笑顔とともに歓声をあげて喜んでいました。

また、もう一つの新しい実験では、普段から学校で慣れ親しんでいるタブレットを使い、ビュートレーサーというプログラミングソフトで、時間や向きを調整しながら、障害物に当たらないように画面上のコースで車を動かしてゴールまでのタイムを競い、プログラミング的な考え方を楽しみながら学んでいました。

終盤の特別講義では、中学年はビー玉4つをピラミッドのようにくっつけたコマの実験や、水素ガスを爆発させる実験などを行い、高学年は、高分子吸水性ポリマーという物質を使った芳香剤作りと、浮沈子作りをしました。芳香剤作りでは、3mm程度のカラフルな高分子吸水性ポリマーの玉が水分を吸い、一晚程度で1.5cmぐらいまで膨らむということで、できあがり想像しながら楽しそうに香りの調合をしていました。

終わりの会では満面の笑みを浮かべた児童に、協力いただいた7人の先生方を加え記念撮影をして理科教室は終了しました。



教育委員会からのお知らせ

今しかできない体験を ～スキー教室大特集～

★学校の冬休みを利用してスキー教室を行いました★

【遊 ing スキー教室】

1月10日～11日の2日日程で、小学4～6年生を対象に日高西部広域社会教育事業『遊 ing スキー教室』(日高町と共催)が行われました。参加者は雪のあるこの時期ならではのスノーラフティング体験やスキー・スノーボード体験をし、冬の醍醐味を存分に満喫していました。

「1日目」

真冬の冷たい風が吹いている中、子供たちは寒さを物ともせず、冬ならではのアクティビティーやレクリエーションを楽しんでいました。

「2日目」

待ちに待ったスキー・スノーボード教室。しかし、数日前に降った雨の影響もあり、ゲレンデが凍りついた中での実施となってしまいました。このような

コンディ

ションの中でも子供たちの成長は驚くほど速く、全員がその日のうちに第1リフトに乗ることができるようになり、ウィンタースポーツの楽しさを知るキッカケとなったのではないのでしょうか。



スノーラフティングの様子



ゲレンデ滑走中の様子

【初心者スキー教室】

1月13日、町内の小学1～6年生を対象とした初心者スキー教室を日高国際スキー場で行いました。例年開催している日帰りのスキー教室ですが、この日は天候・気温・雪質どれをとっても最高の状態での実施でした。参加者は雪まみれになりながらもスキー・スノーボードの基礎技術を学ぶことができました。



博物館コラム「ユッケレとチェフケレの役割」

昔、夏にはストッケレ（ぶどう蔓の皮で編んだわらじ）を履きましたが、裸足で山を駆け回ることも多かったようです。

冬の履物としてはユッケレ（鹿革靴）とチェフケレ（鮭皮靴）があります。制作時は実際に履く人の足を皮の上に乗せて寸法を測りながら作るのので、いわばオーダーメイドの一品だと言えます。

ユッケレ1足作るには鹿2頭分の毛皮が必要で、毛が短く皮が分厚い鹿の脛（すね）の部分だけを使います。毛皮の性質を利用して雪山の登り道は滑りにくく、下り道になると危ないくらいに滑るので、このユッケレと共にエキムネクワ（山杖）でうまく梶（かじ）を取りながら、まるでスキーで急斜面を滑り降りるような技術があったそうですが、これをクワエチャラセ（杖滑り）と言います。



鹿皮靴「ユッケレ」

チェフケレの方は1足作るのに鮭4匹分の皮が必要です。背びれの部分が靴底の真ん中にくるように作るのがポイントで、これが滑り止めとなります。魚の皮は想像以上に強いもので、両手で力いっぱい引っ張ったとしてもそうそう破れたりするものではありません。大切に使えばひと冬1足で過ごせるそうです。昔は「チェフケレを学校に履いて行ったら帰りには犬に食べられていて苦労した」という笑い話のような事も実際あったそうです。



鮭皮靴「チェフケレ」

チェフケレもユッケレも薄くてそのままでは足が冷たいのでケロムン（ケレ・靴 オ・ムン・草）と呼ばれる、乾燥させたスゲなどの植物を中敷として詰めました。いわゆる靴紐にはツルウメモドキの皮をなめた縄が使われましたが、これをケラッ（ケレ・靴 アッ・紐）といいます。これがなかなかの優れもので、どんなに寒い時でもこのケラッは凍り付いてほどけなくなったりすることがないそうです。

ユッケレとチェフケレは冬の生活には欠かせないとても重要な道具なのです。

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

Health Infomation

平取町子ども発達支援センター『ひよこ』学級

子ども発達支援センターとは、どんなところ？

＊児童発達支援事業
＊放課後等デイサービス
2つの事業を行っています。

児童発達支援事業とは？

未就学児（0才から就学前）のお子さんを対象としています。発達で気になるところがあるお子さんや保育園に入る前に小集団での活動を体験していく場。

また、子育て上の悩みについて相談も受けています。

放課後等デイサービスとは？

小学生から18才までを対象としています。発達で気になるところがあるお子さんや集団生活への対応、日常生活における基本的な動作の習得を実施しています。

また、子育て上の悩みについても相談を受けています。

職員構成

＊管理者 1人
＊児童発達支援管理責任者 1人
＊保育士 2人

専門支援

＊作業療法士
＊臨床発達心理士
＊言語聴覚士



しずない心の杜から月に1～2回程度支援に來ています。

巡回療育相談

＊室蘭児童相談所の巡回児童相談
＊道立施設専門支援事業

（北海道立子ども医療・総合療育センターから医師などが年2回来ています）

センターのプログラム

＊午前（幼児）
グループ療育になります。身体遊びや設定遊び（週の遊びをみんなで楽しみます）
＊午後（幼児・学齢）
個別・グループ療育を行います。
遊びを通して療育を行います。

赤ちゃんへの言葉かけ

①赤ちゃんの動きをまねてみる。
＊赤ちゃんは、自分と同じうごきをしてくれる大人に興味を持ち、大人の様子を観察しながら誘いかけてきたりします。

②赤ちゃんの出す声や音をまねてみる。
＊赤ちゃんがご機嫌なときに出す「ぷーぷー」といった声をまねしてあげると、「音を出すことをたのしむようになります。」

③赤ちゃんの気持ちをことばで言ってあげる。
＊赤ちゃんがおやつを食べながら幸せなかおになったら「おいしいね」といつてあげましょう。

④おとなが自分の気持ちをお口にします。
＊自分の行動をお口にすると赤ちゃんはそんな大人の姿を見て言葉の意味を知りやすくなります。



⑤間違えたことばをさりげなく直す。
＊子どものことばに間違いがあっても、言い直させたり訂正するのではなく、さりげなく直して返してあげましょう。

⑥子どものことばを広げて返す。
＊「おっきいぶーぶ」「ほんとは、大きいぶーぶだね、何を積んでいるのかな?」というように話題を少し広げて返ししましょう。



【お問い合わせ先】

平取町役場 保健福祉課
子ども発達支援センター
ふれあいセンターびらとり内
電話 2-3400

電話相談

子育て上の相談を
お受けします。
月曜日～金曜日
9:00～17:00
来所相談は電話で
日時をご確認下さい。
お気軽にご相談ください。

図書館へいこう 平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00 土・日曜日 9:30～17:00
 ○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。
 TEL 4-6666 FAX 4-6871 〻 risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『おもかげ』／浅田次郎
 『牛天神』／山本一力
 『道標』(東京湾臨海署安積班)／今野敏
 『嘘』／村山由佳
 『天翔ける』／葉室麟
 『サハラの薔薇』／下村敦史
 『恨み残さじ』／佐伯泰英
 『剣と十字架』／佐伯泰英
 『わたしを離さないで』／加「オイク」口
 『愛おしきいのちのために』／岩元綾
 『決断。』／大胡田誠、大石亜矢子
 『生きていくあなたへ』／日野原重明



【家庭・生活】

『アイデアいっぱい!おもしろポーチ大集合!』／ブティック社
 『有元葉子 のり、わかめ、ひじき、昆布、もずく』／有元葉子
 『はじめてのニューボーンフォト』／荒原文、海部裕輔



【医学・社会・その他】

『雪崩教本』／雪氷災害調査チーム
 『がんが再発・転移した時、あなたは?』／岩崎瑞枝ほか
 『わらういきもの』／松阪崇久監修
 『バッタを倒しにアフリカへ』／前野ウルド浩太郎
 『海の向こうから見た倭国』／高田貫太
 『ぶらりあるき北海道の博物館』／中村浩



『たからものがいっぱい!』 絵本原画展

こやま峰子さんの絵本「たからものがいっぱい!」(キューバのこどもたち・絵)の原画を展示しています。キューバのこどもたちが描いた“たからもの”の絵を、ぜひじっくりとご覧ください。

こやま峰子さんの他の絵本や小説もあわせて展示します。

期間：2月1日(木)～2月28日(水)
(休館日を除く)

※一度に全てを展示することができないため、2週間で展示作品を入れ替えます。



芥川賞・直木賞受賞作あります!

第158回芥川賞・直木賞が決定しました。受賞作は以下の通りです。貸出中の場合は予約もできますので、お気軽にお問い合わせください。

- 芥川賞
『百年泥』／石井遊佳
『おらおらでひとりいぐも』／若竹千佐子
- 直木賞
『銀河鉄道の父』／門井慶喜

図書ワゴン(移動図書館車)運行日程

3月1日(木)

- 【振内地区】10:00～11:00 山の駅ほろしり館
- 【貫気別地区】11:30～12:30 貫気別生活館
- 【二風谷地区】13:45～14:15 二風谷生活館
- 【紫雲古津地区】14:45～15:15 紫雲古津生活館

- 貸出期間は、**次回の巡回日まで**になります。
- 利用者カードがなくても、貸出できます。

2月の休館日

11・12・19・26日

3月の休館日

5・12・19・21・26日



- 平取町役場 (本庁)
- 総務課 (代表) ☎2-2221
 - まちづくり課 ☎2-2222
 - 産業課 ☎2-2223
 - 税務課 ☎2-2224
 - 出納室 ☎2-2225
 - 建設水道課 ☎2-2226
 - 議会事務局 ☎2-2227
 - アイヌ施策推進課 ☎2-2341
 - 農業委員会・土地改良区 ☎2-2695
 - 観光商工課 ☎3-7703

- 役場振内支所 ☎3-3211
- 役場貫気別支所 ☎5-5204

ふれあいセンターびらとり ☎4-6111

- 保健福祉課
- 保健推進係・福祉係 ☎4-6112
 - 介護支援係・介護保険係 ☎4-6114
 - 町民課 ☎4-6113
 - 児童館 ☎2-3026
 - 子ども発達支援センター ☎2-3400
 - 地域包括支援センター「ほほえみ」 ☎2-3700
 - 図書館 ☎4-6666

- 平取町教育委員会
- 中央公民館 ☎2-2619
 - 町民体育館 ☎2-2749
 - 二風谷アイヌ文化博物館 ☎2-2892
 - 沙流川歴史館 ☎2-4085

- その他公設機関
- 平取町国民健康保険病院 ☎2-2201
 - 平取町外2町衛生施設組合 ☎2-2024
 - 日高西部消防組合平取消防署 ☎2-2361
 - 社会福祉協議会 ☎4-2267

平取町公式ホームページ



QR コード

今月のワンショット



ふるさと給食「ニシパランチ」(1/26 振内小学校)
びらとり和牛カットステーキと寒じめほうれん草のおひたしに感激!

すずらん短歌会詠草

サロンにてそば打ち体験久しぶり
そば切りのし会食もたのし
中沢 三二子

姉妹の如く過ごして五十年
毎日飲む茶に話はつきず
相田 のぶ子

楽しみは級友と語らう長電話
この歳なれば口だけ元気
中原 千鶴子

薪ストーブの火力の強さありがたし
母の洗濯一夜で乾き
石川原 多満代

三人の家族に犬が三匹で
主導権など入り乱れつつ
熊谷 厚子

「すずらん短歌会」入会者募集中
希望者は、中央公民館(生涯学習課社会教育係)へ



公式キャラクター
「ビラッキー」

有料広告

